

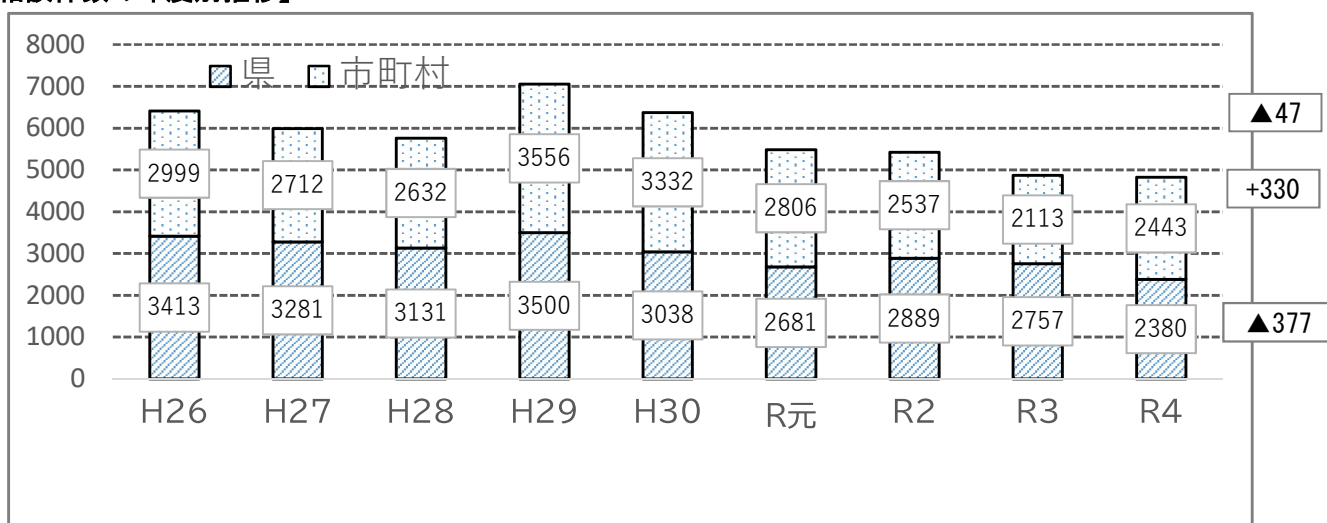
統計資料

1 令和4年度消費生活相談の概要

【概況】

- 県及び市町村の消費生活相談窓口への相談件数は4,823件であり、前年度比で47件(1.0%)減少した。
- 内容別では、商品一般(身に覚えのない請求、引き落とし等)に関する相談が昨年度に引き続き最多となった(465件、構成比9.6%)。
- 年代別では、70歳以上を当事者とする相談が最多(1,097件、構成比22.7%)で、次いで60歳代(804件、同16.7%)となっており、依然として高齢者からの相談割合が大きい。
- 若者を当事者とする相談は、19歳以下は前年度比で減少したが、20歳代は80件(32.4%)増加し、融資サービス(多重債務、サラ金)、自動車、理美容、内職・副業などに関する相談割合が他の年代に比べて大きかった。

【相談件数の年度別推移】



【主な相談内容】

順位(前年)	相談内容	件数(構成比)	順位(前年)	相談内容	件数(構成比)
1 (1)	商品一般(身に覚えのない請求、引き落とし等)	465(9.6%)	6 (2)	相談その他(個人間借金、労働相談など消費者問題以外の相談)	178(3.7%)
2 (4)	化粧品(美容液、ニキビクリーム等の定期購入等)	378(7.8%)	7 (10)	レンタル・リース・賃借(賃貸住宅、レンタル・リースサービス)	169(3.5%)
3 (6)	融資サービス(多重債務、サラ金・ローン等)	211(4.4%)	8 (5)	他の教養・娯楽(インターネットゲーム、出会い系サイト、ギャンブル等)	152(3.2%)
4 (3)	役務その他(不用品回収、保険申請サポート、占いサイト等)	194(4.0%)	9 (7)	娯楽等情報配信サービス(アダルト情報、音楽配信、映像配信等)	138(2.9%)
5 (8)	健康食品(食品、サプリメント等の定期購入等)	188(3.9%)	10 (11)	工事・建築・加工(各種工事、リフォーム等)	116(2.4%)

【契約当事者の年代別相談件数】

区分	R4	構成比%	R3	構成比%	R3~R4増減 [増減率%]
19歳以下	115	2.4	121	2.5	△6 [△5.0]
20歳代	327	6.8	247	5.1	80 [32.4]
30歳代	358	7.4	369	7.6	△11 [△3.0]
40歳代	604	12.5	596	12.2	8 [△1.3]
50歳代	701	14.5	616	12.6	85 [13.8]
60歳代	804	16.7	841	17.3	△37 [△4.4]
70歳以上	1,097	22.7	1,052	21.6	45 [4.3]
不明	817	17.0	1,028	21.1	△211 [△20.5]
計	4,823	100.0	4,870	100.0	△47 [△1.0]

<参考>市町村窓口を含めた市町村別相談件数

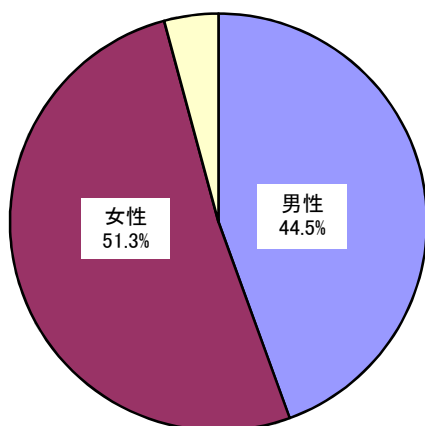
【令和4年度 市町村別相談件数】

区分	総件数	市町村別相談件数		
		県受付	市町村受付	市町村割合
鳥取市	1,706	663	1,043	61.1%
米子市	1,454	809	645	44.4%
倉吉市	402	182	220	54.7%
境港市	311	114	197	63.3%
岩美町	38	21	17	44.7%
若桜町	13	10	3	23.1%
智頭町	40	25	15	37.5%
八頭町	75	53	22	29.3%
三朝町	52	20	32	61.5%
湯梨浜	72	36	36	50.0%
琴浦町	97	49	48	49.5%
北栄町	105	28	77	73.3%
日吉津村	33	32	1	3.0%
大山町	108	78	30	27.8%
南部町	65	56	9	13.8%
伯耆町	48	39	9	18.8%
日南町	23	17	6	26.1%
日野町	22	14	8	36.4%
江府町	22	12	10	45.5%
その他	137	122	15	10.9%
計	4,823	2,380	2,443	50.7%
総件数に占める市町村の割合 50.7%				

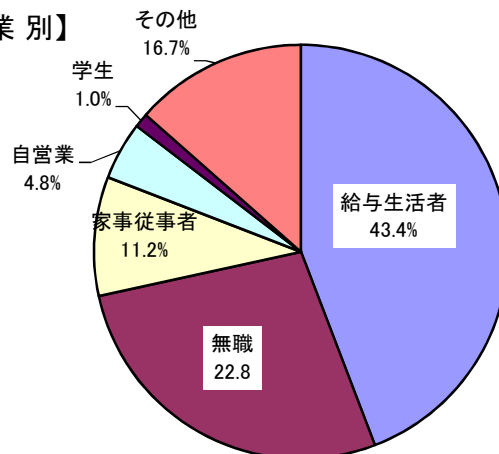
【県消費生活センターにおける相談者の属性】

【相談内容の件数内訳】

【性別】 その他 4.2%



【職業別】 その他 16.7%



順位	(R3)	商品・役務名	件数			備考
			R4	R3	増減(%)	
1	1	商品一般	465	246	89.0%	身に覚えのない請求、引落等
2	4	化粧品	378	120	215.0%	美容液、ニキビクリーム等の定期購入等
3	6	融資サービス	211	109	93.6%	多重債務、ローン等
4	3	役務その他	194	83	133.7%	占い、保険申請サポート等
5	8	健康食品	188	98	91.8%	食品、サプリメント等の定期購入等
6	2	相談その他	178	162	9.9%	個人間借金、労働相談など消費者問題以外の相談

【無店舗販売（通信販売・訪問販売等）】

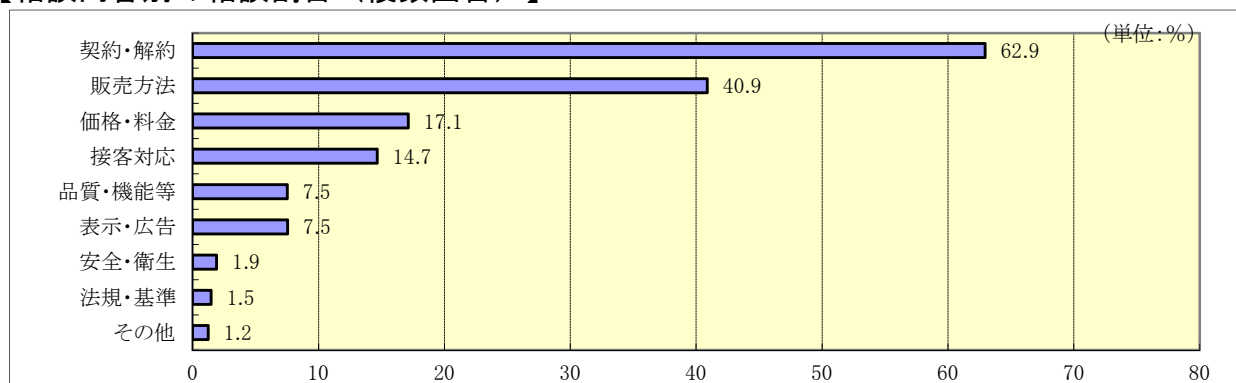
区分	R4	R3	差引
通信販売	1,339	1,019	320
電話勧誘販売	186	174	12
訪問販売	195	148	47
マルチ(まがい含む)	31	33	△ 2
その他無店舗	23	25	△ 2
訪問購入	35	36	△ 1
計	1,809	1,435	374

【販売購入形態別に係る相談(内訳)】

区分	(単位:件,%)								
	相談全体		～29歳		30～59歳		60歳～		
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
店舗購入	386	16.2%	13	10.1%	160	17.0%	165	16.6%	
訪問販売	家庭訪販	70	2.9%	0	0.0%	26	2.8%	38	3.8%
	キャッチセールス	2	0.1%	0	0.0%	2	0.2%	0	0.0%
	アポイントメントサービス	2	0.1%	0	0.0%	2	0.2%	0	0.0%
	ホームパーティ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	SF商法	1	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
	不明	37	1.6%						
	計	112	4.7%	0	0.0%	44	4.7%	52	5.2%
通信販売	934	39.2%	81	62.8%	428	45.4%	360	36.2%	
マルチ・マルチまがい	20	0.8%	5	3.9%	8	0.8%	6	0.6%	
電話勧誘販売	133	5.6%	7	5.4%	47	5.0%	63	6.3%	
送り付け商法	3	0.1%	0	0.0%	2	0.2%	0	0.0%	
訪問購入	22	0.9%	1	0.8%	6	0.6%	12	1.2%	
その他無店舗販売	15	0.6%	1	0.8%	5	0.5%	3	0.3%	
不明・無関係	755	31.7%	21	16.3%	255	27.1%	347	34.9%	
合計	2,380	100.0%	129	100.0%	942	100.0%	994	100.0%	

※年齢不詳は省略したため、各年代別の合計は相談全体件数とは一致しない。

【相談内容別の相談割合（複数回答）】



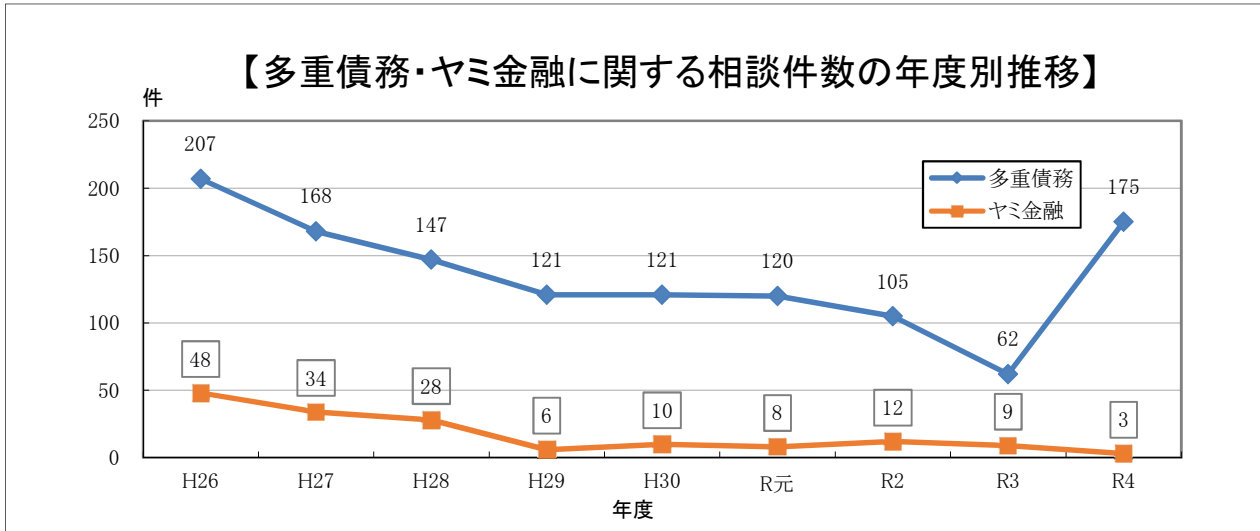
【相談内容別の受付件数】

区 分		受付件数 (単位:件)	割合
商 品	商品一般	305	8.8%
	食料品	239	6.9%
	住居品	122	3.5%
	光熱水品	60	1.7%
	被服品	177	5.1%
	保健衛生品	326	9.4%
	教養娯楽品	266	7.7%
	車両・乗り物	85	2.4%
	土地・建物・設備	97	2.8%
	他の商品	5	0.1%
	商品計	1682	48.4%
	役 務	クリーニング	8
レンタル・リース・賃借		171	4.9%
工事・建築・加工		117	3.4%
修理・補修		67	1.9%
管理・保管		4	0.1%
役務一般		24	0.7%
金融・保険サービス		346	10.0%
運輸・通信サービス		199	5.7%
教育サービス		6	0.2%
教養・娯楽サービス		294	8.5%
保健・福祉サービス		110	3.2%
他の役務		162	4.7%
内職・副業・ねずみ講		51	1.5%
他の行政サービス		45	1.3%
役務計		1604	46.2%
他 の 相 談	186	5.4%	
合 計	3,472	100.0%	

2 令和4年度多重債務相談の概要

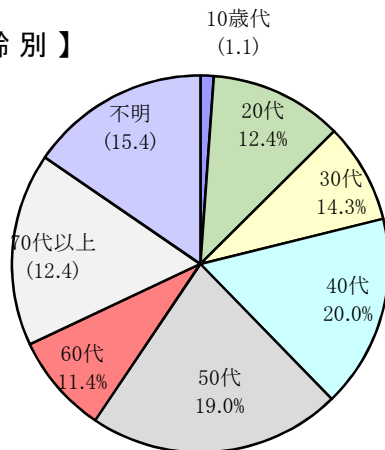
- 多重債務の相談は平成20年度の1,197件をピークに減少傾向にあるが、令和4年度は175件で、前年度の62件から増加(113件)している。
- ヤミ金融の相談も平成15年度をピークに減少が続いており、令和4年度は3件に留まっている。前年度から△66.7%(6件)の減となっており、昨年度と同様、低い水準が続いている。

① 相談件数

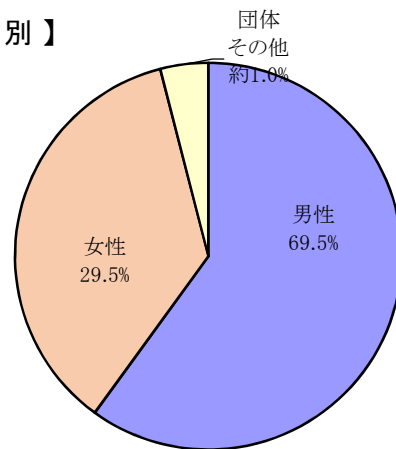


② 多重債務相談者の属性別の状況

【年齢別】

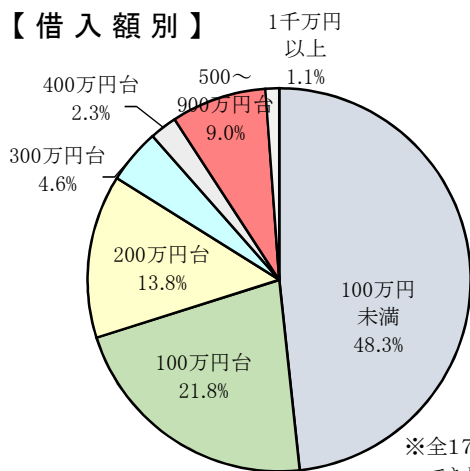


【性別】

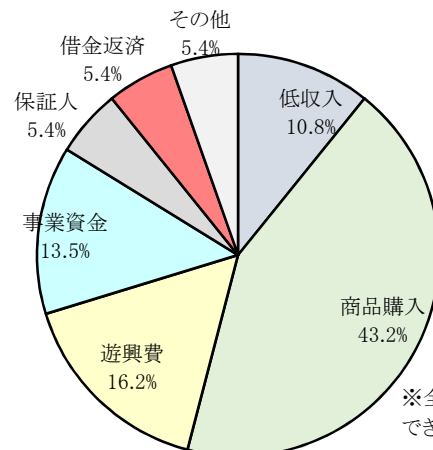


③ 内容別の状況

【借入額別】



【多重債務に至った要因】



3 令和4年度消費者啓発・公開講座の実施状況

【児童、生徒、学生等対象講座】

開催日	開催地	テーマ	講師・対象	会場	参加人数
4月5日	米子市	若者に多い消費生活トラブル ～知っておきたい契約の基礎知識～	講師：消費生活相談員 対象：学生、教員	YMCA 米子福祉医療 専門学校	68
6月15日	倉吉市	18、19歳に気を付けてほしい消費者 トラブル	講師：消費生活相談員 対象：学生	倉吉東高等学校	23

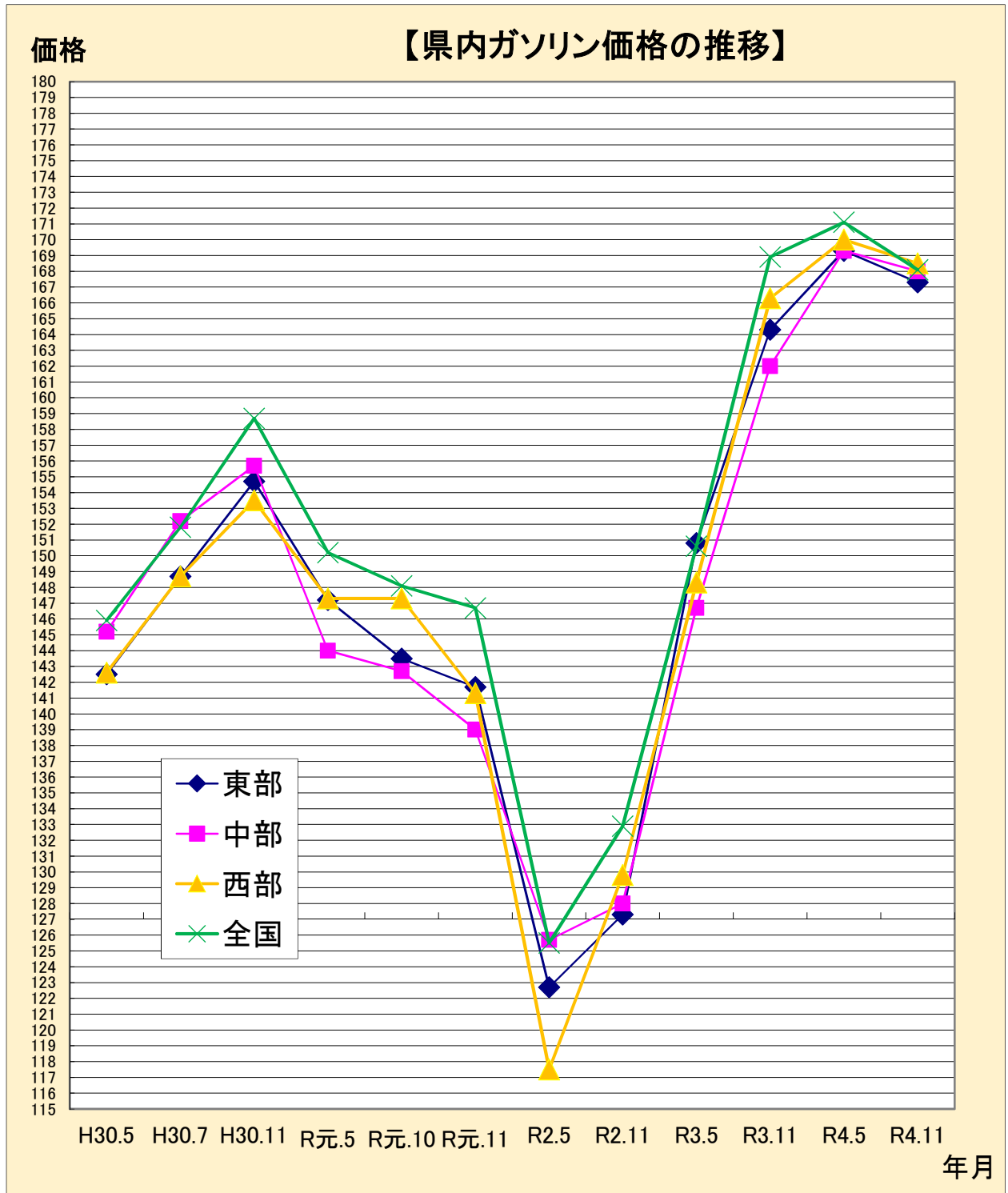
【一般講座】

開催日	開催地	テーマ	講師・対象	会場	参加人数
1月19日	日吉津村	「消費者被害について」最近の状況、 事案、支援者通しての対処方法	講師：消費生活相談員 対象：南部箕蚊屋広域の 医師、歯科医師、薬剤師、 介護事業者等	キナルなんぶ	16
1月23日	米子市	輸送サービスのトラブルと最近の 消費生活相談。	講師：消費生活相談員 対象：鳥取県トラック 協会	ANA クラウンプラ ザホテル米子	20
1月31日	米子市 オンライン	鳥取大学学生支援センターと相談 室との情報交換会	講師：消費生活相談員 対象：鳥大学生支援セ ンター鳥取県消費生活 センター所長、NPO コ ンシューマーズサポー ト鳥取	鳥取県消費生活セ ンター	7
2月14日	米子市	障がいのある方の消費者トラブ ル、留意すること	講師：消費生活相談員 対象：西部障害者自立 支援協議会	米子市役所	17
3月29日	米子市	障がい者の相談事例とその対応	講師：消費生活相談員 対象：障がい者就業・ 生活支援センターしゅ ーと職員会	米子市立図書館	7

【とっとり消費者大学公開講座】

開催日	テーマ	講師	会場	参加人数
8月24日	損をしたくない気持ちが損を呼び込む！？ ～行動経済学をくらしに生かす～	鳥取県金融広報アド バイザー 木村 美紀 氏	鳥取県立生涯学習 センター	21
8月26日			米子コンベンショ ンセンター	9
10月20日	空き家のリスクと管理・活用	司法書士 濱川 康夫 氏	とりぎん文化会館	12
11月8日			倉吉未来中心	21
2月1日	もうだまされない！特殊詐欺 ～被害者にならないために～	鳥取県警察本部 生活安全部生活安全 企画課 波田 貴幸 氏	米子コンベンショ ンセンター	13
2月3日			とりぎん文化会館	24

4 令和4年度ガソリン小売価格調査の実施結果



【調査概要】

- 調査時点:原則毎月第1月曜日(平成30.7~:5月・11月の半年毎調査に変更、令和元.10月は臨時実施)
- 各地域市街地を中心に行った調査結果です。
- 各地域から抽出した県内30店舗(平成30.7~:15店舗)の店頭表示フリー価格の平均値を掲載しています。
- 全国平均価格は資源エネルギー庁の石油製品価格調査結果を引用しています。